

# 心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和3年10月1日(金)

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.22

文責：松永 尚子

## 感動の運動会でした。

9月25日(土)に、南関町教育委員会教育委員の大法真奈美様、学校運営協議会の委員のみなさまをお招きして、令和3年度南関町立南関第四小学校運動会を実施しました。子どもたちは、「みんなで心をついに協力し、勝っても負けても笑顔になる運動会」を目指して、一生懸命走ったり、踊ったり、係の仕事に取り組み、感動の運動会にしてくれました。4・5・6年生のよさこいソーランでは、昨年度に引き続き、「アンコール！アンコール！」の声が…。子どもたちは、1回目で力を出し切っていましたが、再度、気持ちを奮い立たせて、アンコールの声に答えてくれました。



## キジの放鳥を行いました。

9月28日(火)四小校区の熊本県猟友会事務局の森山様、宮鹿野様、南関町の立山様が来校され、6年生の子どもたちが35羽のキジの放鳥を行いました。子どもたちは、キジを間近で見るのも触るのも初めてです。みんな、どきどきしながら、足を握り、しっかりと大空に放ちました。子どもたちは、「はじめは緊張したけど、触ると温かくて、楽しくなりました。」などと感想を発表していました。命の温かさが伝わってきたようです。

キジは、日本の国鳥だそうです。山地から平地の林、田畑などに生息し、主に、草の種子や芽、葉、また、昆虫なども食べるそうです。四小の裏山辺りにしばらくいるようです。元気に大きく育ってほしいです。



## 浦田理恵選手報告会

29日(水)、南関町出身のパラリンピック銅メダリスト浦田理恵選手が、南関第三小学校で報告会をされました。その様子を、南関町のすべての小中学校にオンラインで流されたので、四小の子どもたちもお話を聞くことができました。

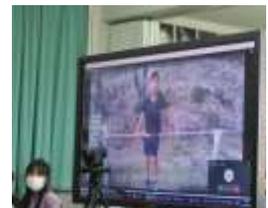
浦田選手は、大学生のときに目が見えなくなったそうです。そのとき絶望からある1つの勇気をもって、言い訳をやめたそうです。そして、「力が強い相手には負けることがあるが、絶対に負けることはない相手がいる。それは自分。自分があきらめなければ負けることはない。人生には時々大きな壁がくる。そのとき、自分との約束を守ること、つまり自分に負けないことが大事。それが、みんなが成長するための大きなヒントです。」と話されました。



今日のお話を、子どもたちのこれからの人生のヒントにしてくれるといいなと思っています。

## 四小集会(図書委員・体育委員)

9月29日(水)に四小集会を行いました。今回は、体育委員会と図書委員会が担当でした。体育委員会は、コロナ禍で少し運動不足になったみんなに、校庭の遊具を使った運動を紹介してくれました。鉄棒やうんてい、のぼり棒、平行棒を使って、段階ごとにいろいろな運動を紹介していました。自分で体力づくりに取り組み、運動好きになってほしいなと思いました。



図書委員会からは、四小スキルアップの身の回りの整理整頓、読書玉入れ、読書月間について、赤星文庫の紹介などがありました。赤星文庫とは、2019年に、南関町在住の赤星様が読書推進のために町に寄付をされたそうです。しっかり読書に取り組みます。ありがとうございます。

